



なかしましょうがっこう としよ がつこう
中島小学校 図書だより 1月号

楽しい冬休みが終わり、新学期がスタート！そして、気がつけば1月も下旬に入り、月日が過ぎる時間が早い

ように感じます。この時期になると、「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉を耳にしますが、

これは、お正月から3月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを調子よく言ったものだそうです。

学校も1～3月の行事では、スキー学習や6年生を送る会、卒業式と大きなイベントが

続き、勉強も1年間のまとめを行い、更なる目標を設定する大変忙しい時期になります。

行事や勉強が集中し、「1日が一瞬のように過ぎていくなあ」と感じる人も

いるのではないのでしょうか？本を読む時間を取ることも、今は少し難しい

かもしれませんが、今年もすてきな本に出会ってほしいと思います。

こんげつ としよしつ ほん しょうかい
今月の図書室おすすめ本を紹介します！

「おもちのかみさま」かとうまふみ/作

☆「わたしは特別なおもちだ。

食べられるなんて、まっぴら
ごめん！」どんな熱い火で
焼かれても、決してふくら
まないガンコなおもちの
運命やいかに？！



「かまくら かまくら ゆきのいえ」あまんきみこ/作

☆てつお君と妹のちゃこちゃん
が「遊びに出かけ、帰り道
がわからなくなってしまいます。

そんな時に助けてくれたのは
ぬいぐるみのウサギ、ミミコ。
雪と奇跡のファンタジー絵本。



「こうえんのシロ ゆきのひ」わたなべひろみ/作

☆ある雪の日、子どもたちと
雪合戦をはじめたシロは、
夢中になりすぎて妖精さんが
作った雪の像を壊してしま
います。怒った妖精さんは、
シロを透明にしてしまい…。



「七ふくじんとおしょうがつ」山末やすえ/作

☆ほくの家に七福神がやって
きた！宝船にも乗って、
としがみさまにも会ったよ！
日本の伝統行事と由来が
楽しく学べるお話です！



なかしま たから どうせんぼんどう ほんびょう
『中島ジャンボ宝くじ』当選番号の発表！

中島ジャンボ宝くじに参加してください誠にありがとうございました。たくさんの方が参加
してくれたのでとても嬉しく思います。みんなの番号は当たっているかな…？

なかしま たから どうせんぼんどう
中島ジャンボ宝くじの当選番号

1等 特製本グッズ 217 156 184 221 278 013

2等 (下2けた) もう1冊借りれます券、しおり 53 52 73

3等 (下1けた) もう1冊借りれます券 0 5

*景品は1月中に引き換えに来てください。

おめでとう
ございます！



としよしつ し
図書室からのお知らせです。

1月の「家読の日」は、25日(土)と26日(日)です。

☆「家読の日」は、家族みんなと一緒に「読書の時間」を過ごす日です。
読んだ本について家族で感想を伝え合ってもすてきですね。
本を読んだ感想は「家読ノート」に自由に書いてください。
すてきな感想は図書だよりで紹介されます。

☆冬休み前に借りた本は返却できましたか？☆

冬休み前に借りた本をまだ返却していない人は図書室に持って来て返却
しましょう。返却が遅くなってしまうと、次に本を読みたい人が困ってし
まいます。また、本を無くしてしまうこともありますので早めに
返却してください。



みんなの

「冬休み家読カード」を

少し紹介します。

「ノantanのたんじょうび」キヨ/サチコ/作

☆うさぎさんとぶたさんとくまさんがノantanに
いないいないばあをするところがおもしろかった。
(1年 男子)

「ゆきのひ」かこさとし/作

☆雪がいっぱいあったら、僕も雪遊びをしたいと思います。
かまくらを作って、おもちゃや甘酒を食べたり飲んだりする
のがおもしろくて好きな場面です。(1年 男子)

「おとうさん パパ おとうちゃん」みやにしたつや/作

☆家では、おとうさんやパパやおとうちゃんって呼ばれているけど
お仕事ではいろいろな呼び方をされているんだなあと考えた。
(1年 男子)

「ぼくのニセモノをつくるには」ヨシタケシンスケ/作

☆僕も、おこづかいでロボットを買って、自分のことを教えて、
ロボットに宿題や部屋の掃除をさせたいです。(2年 男子)

「へんしん へんしん フルーツポンチ」やまもとゆうじ/作

☆こんなきらきらしたフルーツポンチを私も食べてみたいと
思いました。(1年 女子)

「ころべばいのに」ヨシタケシンスケ/作

☆いやなことがあっても、自分の中でうれしいことを考えると
うれしい気持ちになっていくことがわかった。(3年 女子)

「嘘吹きパスワード」久米絵美里/作

☆個人情報を守るためのパスワードは、どれだけ信頼している人でも
教えてはいけないのだなと思った。自分が見ている情報の裏には
悪い人があるかもしれないと改めて感じた。(6年 女子)

「オニガシマランソ海」トロル/作

☆マランソコースが海の中で、水に強い選手が活躍できると思ったけど、
地道に走って、泳いで努力した人が優勝していたので、努力すれば
必ず成功するんだなと思いました。(6年 男子)

「フンダバーとワンワンワン 共同生活」くぼしまりお/作

☆しゃべる猫・フンダバーの物語だったのですが、そんな猫と共同生活すると
大変だろうなと思いつつ読んでいました。だけど、大変な暮らしがいつからか
幸せな気持ちに変化しているところがいまいち思いました。(5年 男子)

「もりの100かいだての家」いわいとしお/作

☆オトさんはいろいろな虫と演奏会をして、みんなと楽しんだと思った。
僕は100階だての家の50階に住みたい。なぜなら眺めが良さそう
だから。100階だと高すぎて小さく見える。(3年 男子)

「ハンカチともだち」なががわちひろ/作

☆さいしよは、はるちゃんだけが魔法のハンカチを持っていると思ったけど、ミヨちゃんも
魔法のハンカチを持っていたびっくりしました。そのおかげで、ふたりが仲良くなっていくな
と思いました。私のハンカチにも魔法のハンカチがあったらいいなと思いました。(4年 女子)

「図書館の夜」ローレンシ・パウリ/作

☆キツネはネズミを追いかけて図書館に入り、そこにあった
本を読んだらおもしろくなって、気付いたらたくさん本を
読んでいたところがすごかったです。(5年 男子)

「わけあって絶滅しました」今泉忠明/作

☆カゲロウは命が短いけど、命が短くないと食べられて、絶滅してしまうという
ことを知って、小さい生きものにもいろいろな工夫がされているということが
わかりました。だから、家の自動販売機にたくさんついているカゲロウを少し
気持ち悪いと思っていたけど、見方が少し変わりました。(4年 女子)

「和の行事 春と夏の巻」高野紀子/作

☆正月から七五三など、たくさんの日本の行事が
わかりやすく書いてあっておもしろかったです。
初めて知った行事もあったので、続編の秋と冬の巻
も読んでみたいと思いました。(5年 男子)

「わたしのおべんとう」スギヤマカナヨ/作

☆この本を読んでいたら、お腹が減りました。
トマトときゅうりのサンドイッチにからあげと
ミートボールをはさんだらもったいないと
思う。(2年 女子)

「いじわるなないしよおぼけ」

ティエリー・ロフレヒト/作
☆うそをついたら口からおぼけが
出てきたところがおもしろいと
思いました。(1年 女子)

「よのなかのルールブック」高瀬正伸/作

☆心に残ったところは、「まず努力すること。努力が結果につながり、結果が自信をうむ。」
というルールです。努力で手に入れた結果だけが本物の自信につながるのだと思いました。
まず、努力をして自分で自分の自信を出そうと思います。(5年 女子)

「なまえのないねこ」竹下文子/作

☆「のらねこ」、「きたないねこ」、そんなのは名前じゃない。
でも、さいごは「メロン」という名前をもらっていてよかったと
思いました。名前は大切なのだなと感じます。(5年 女子)

「ハリセンボンがふくらんだ」鈴木克美/作

☆ふつうのフグとハリセンボンの違いは、歯の数の違いだとわかりました。
フグは上も下も歯が2本、ハリセンボンは上も下も歯が1本だとわかり、
フグとハリセンボンの違いが知れてよかったです。(4年 男子)

「捨て犬・未来と捨て猫・未来」今西及子/作

☆捨てられた犬と猫が保護されて、その犬と猫の名前を「未来」と名づけたのは、
それだけ捨てられた犬と猫に「未来」を楽しく過ごしてほしいという思いが強く、
愛情が伝わっているのだと思いました。犬の未来と猫の未来の様子を見ると、人間
から見た「未来」たちの会話や解釈や感情の表現が、また愛情を引き立たせている
なと思いました。(6年 女子)

「エヴィーのひみつと消えた動物たち」マッ・ヘイグ/作

☆私はこの本を読んで「命」という言葉が大切だと思いました。
魅力的な生きものが登場し、家族愛や優しさなどが描かれて
いました。私は、いろんなことに「命」が繋がっているのを、
動物などの生きものを大切にして、「命」をいただいていることを
忘れないでいようと思いました。(6年 女子)

「フラックホールってなんだろう」嶺重慎/文

☆フラックホールは地球よりも重たいそうです。僕はフラックホールに
吸い込まれる時、普通に吸い込まれると思っていましたが、実際は
パスタのように引き伸ばされて吸い込まれるそうです。僕は思わず
びっくりしました。フラックホールは謎に包まれた天体だと思っています。
(2年 男子)